

# 枠組壁工法 自主工事検査報告書

検査員氏名

住所

電話 ( )  
FAX ( )

工事名

現場の所在地			
建築主	氏名	電話	( )
	現住所		
施工業者	名称	建設業登録( )第	号
		電話	( )
現場施工監理者		構造・階段	枠組壁工法 階建て
敷地面積	m <sup>2</sup>	延床面積	m <sup>2</sup>
①着工予定日	平成 年 月 日	②竣工予定日	平成 年 月 日
③基礎工事完了予定日	平成 年 月 日	④屋根工事完了予定日	平成 年 月 日
確認申請番号	第	号	平成 年 月 日

## 地盤・基礎

### 1. 施工実施日程及び予定

	予定または実施日			天候
建築主との現場 確認月日	平成 年	月 日	予定・実施	
地盤・地質 調査月日	平成 年	月 日	予定・実施	
根切着工月日	平成 年	月 日	予定・実施	

※ 特に、地盤・地質調査を行った場合に記入してください。

## 上部躯体(枠組壁工法)

### 1. 施工実施日程及び予定

	予定または実施日			天候
1階床枠組	平成 年	月 日	予定・実施	
2階床枠組	平成 年	月 日	予定・実施	
小屋組	平成 年	月 日	予定・実施	
屋根	平成 年	月 日	予定・実施	

## 上部躯体(枠組壁工法)

### 1. 造作実施日程及び予定

	予定または実施日			天候
1階内装工事 (セッコウボード)	平成 年	月 日	予定・実施	
2階内装工事 (セッコウボード)	平成 年	月 日	予定・実施	

項目		基準	自主	手直	備考
※1 地盤	1. 敷地調査	さら地・盛土・切土・盛土及び切土 解体: <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 有( ) その他( )			
	2. 地盤調査の有無	地盤調査報告書: <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 有( ) 特記事項( )			
	3. 土質と長期許容 地耐力	土質( ) 調査方法( ) 推定地耐力( KN/m <sup>2</sup> )			
	4. 地質の一様性	<input type="checkbox"/> 一様 <input type="checkbox"/> 不均一 特記事項( )			
	5. 埋設物・障害物 などの有無	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 有 特記事項( )			
	6. 湧水・流水の有無	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 有			
	7. 設計時と施工時の 変更内容				
※2 地業	1. 地業の種類	<input type="checkbox"/> 砂利( ) <input type="checkbox"/> 砕石 <input type="checkbox"/> 割栗 <input type="checkbox"/> 地盤改良 <input type="checkbox"/> その他			
	2. 突き固め機器				
※3 基礎	1. 位置(配置)	諸法規の基準(集団規定) 位置の確認: <input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 不適			
	2. 構造形式	<input type="checkbox"/> 布基礎 床下防湿措置	立ち上がり(高さ mm、幅 mm) フーチング(高さ mm、幅 mm) <input type="checkbox"/> 防湿土間コンクリート <input type="checkbox"/> 防湿フィルム		<input type="checkbox"/> なし
		<input type="checkbox"/> ベタ基礎	立ち上がり(高さ mm、幅 mm) スラブ(厚 mm、最大区画 mm) <input type="checkbox"/> 防湿フィルム		<input type="checkbox"/> なし
		<input type="checkbox"/> その他			
※4 鉄筋	1. 主筋	主筋の種類( )主筋径( mm) 主筋の間隔( mm)			
	2. かぶり厚さ	かぶり厚さ( mm)			
※5 コン クリ ート	1. 製造方法など	フーチング(スラブ)の打設時期 ( 年 月 日 時 天候: ) 立ちあがりの打設時期 ( 年 月 日 時 天候: )			
	2. コンクリートの種別	<input type="checkbox"/> レディーミクストコンクリート <input type="checkbox"/> 現場調合			
	3. 強度など スラブ	( N/m <sup>2</sup> ) ( cm)			
	4. 養生・型枠存置期間	(型枠の取り外し日 月 日、日間)			
	5. 打ちあがり品質	天端ならしの状況 施工不良箇所の有無: <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 有 (処置 )			
	その他				
※6 アンカ ー ボルト	1. 材料	品質: <input type="checkbox"/> Cマーク金物 <input type="checkbox"/> 同等品			
	2. 間隔、配置	間隔は、2m以内 隅角部、継手部分、通り芯から150mm内外			
	3. 径	<input type="checkbox"/> M12 <input type="checkbox"/> その他( )			
	4. 埋め込み長さ	250mm以上			
	5. 高さ	基礎からの出			

項目		基準	自主	手直	備考
※7 換気	換気口型	1. 材料	<input type="checkbox"/> 鋳物製 <input type="checkbox"/> ステンレス製 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 網付き		
		2. 有効換気面積(外周)	300cm <sup>2</sup> 以上 (W × H )		
		3. 配置(外周)	間隔は4m以内(土間部分を除く)		
	4. 床下換気口 <input type="checkbox"/> 基礎パッキン工法	<input type="checkbox"/> 硬質ゴム製 <input type="checkbox"/> 樹脂製 <input type="checkbox"/> 金属製 <input type="checkbox"/> その他(メーカー )			
※8 土台	1. 材料	寸法形式: 企画、加圧式防腐防蟻木材			
	2. 防水シート	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 有( )			
	3. アンカーボルトの締め付け	締め付け			
	4. 仕口及び継手釘打ち	土台: 204の場合2-CN65T 404の場合3-CN75T 大引: 2-CN90F(両面から)			
	5. 製束の種類	<input type="checkbox"/> 鋼製 <input type="checkbox"/> プラ束 <input type="checkbox"/> 木製			
	6. 座金ぼり(404)				
※9 床	1. 材料	寸法形式: 規格			
	2. 材料	厚さ12mm以上の構造用合板など 告示に定めるもの(現場@ )			
	3. 床根太相互の間隔	500mm以内(650mm以内)(現場@ )			
	4. 床根太の支持点距離と継ぎ手				
	5. 床根太の欠き込みと穴あけ(製材)	欠き込み 位置: 両端から1/3以内 深さ: 根太せいに対し上端1/6以内 深さ: 根太せいに対し下端1/6以内 欠き込み 幅: 根太せいに対し上端1/2以内 位置: 端部支点 深さ: 根太せいに対し上端1/3以内 欠き込み幅: 根太せい以内 穴あけ 位置: 上下端より50mm以上 最大径: 根太せいの1/3以内			
	6. 床根太と土台又は頭つなぎの釘打ち	2-CN75T			
	7. 端根太と側根太と土台又は頭つなぎの釘打ち	CN75T間隔250mm以内			
	8. 端根太と床根太又は側根太の釘打ち	3-CN90E			
	9. 側根太と添え側根太の釘打ち	両端部2-CN75F、中間部300mm千鳥打ち			
	10. 側根太と側根太ころび止めの釘打ち	4-CN75F			
	11. 添え側根太と土台又は頭つなぎの釘打ち	CN75T間隔500mm以内			
	12. 側根太ころび止めと土台又は頭つなぎの釘打ち	1-CN75T			
	13. ころび止め及びファイヤーストップ材の間隔釘打ち	3-CN75T又は3-CN90E			
	14. 床材の割付と段差	千鳥張り、床根太に3本以上かける			
	15. 床の枠組と床材の釘打ち	間隔: 周辺部150mm以内、中間部200mm以内 床下張り合板が構造用合板12mmの場合CN50 15mmの場合CN65			
	16. 床材の釘打ち状況	釘のめり込み <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 有( )			

項目		基準	自主	手直	備考	
※9 床	17. 2階床梁	断面寸法、配置				
	18. 階段、吹抜等の開口部の補強	断面寸法				
	耐力壁などの直下に耐力壁を設けない場合の補強					
	19. 金物	品質: <input type="checkbox"/> Cマーク金物 <input type="checkbox"/> 同等品 使用方法:				
	20. 水平精度、矩精度					
	21. 断熱材	1階	材料、厚さ、入れ方			
		2階	オーバーハングやピロティなど			
	22. 1階床下の掃除					
23. 接着剤	<input type="checkbox"/> 不使用 <input type="checkbox"/> 使用(					
※10 壁	1. 地階の壁の構造					
	2. 3階建ての3階部分の構造	<input type="checkbox"/> 小屋裏利用3階建て <input type="checkbox"/> 正3階建て				
	3. 耐力壁(支持壁)の配置	耐力壁相互の間隔12m間隔				
	4. 材料	寸法、規格				
	5. 材料	厚さ7.5mm以上の構造用合板など				
	6. たて枠の間隔	500mm以内(650mm以内)				
	7. 隅角部及び交差部のたて枠	3本以上				
	8. たて枠の欠き込みと穴あけ	欠き込み	せいの1/4以下、たて枠1本に1ヶ所1/4を超える場合は、見込み40mm以上残しパイプガードで補強			
		穴あけ	せいの1/4以下、一方の見込み30mm以上残し、見込み30mm未満の側をパイプガードで補強			
	9. まぐさ及びまぐさ受け	配置、受け材の本数、断面寸法				
	10. 上枠及び下枠の継ぎ手位置	たて枠の中央又はたて枠相互間の中間位置				
	11. 頭つなぎの継ぎ手位置	上枠の継ぎ手位置より600mm以上離す				
	12. 頭つなぎと上枠の取り合い	交差部の取り合い				
	13. たて枠上枠又は下枠の釘打ち	2-CN90E又は3-CN75T				
	14. 下枠と床枠組の釘打ち	たて枠間毎に2-CN90F				
	15. 上枠と頭つなぎの釘打ち	端部2-CN90F、中間部CN90F間隔250mm以内				
	16. たて枠とたて枠の釘打ち	CN90F間隔300mm以内				
	17. たて枠とまぐさ受けの釘打ち	上下端2-CN90F、中間部300mm千鳥打ち				
	18. スジカイトころび止めの位置と釘打ち	スジカいは幅900mm以上の壁に圧縮の利くように配置				
	19. 下張材の張り上げ	開口部周り、隅角部、上下継ぎ手部分の間隔				
	20. 壁枠組と下張の釘打ち	構造用合板: CN50間隔: 外周100mm以内 中間部200mm以内				
	21. 下張り材の釘打ち込み状況	釘のめり込み <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 有(				
22. 開口部補強	まぐさ、まぐさ受け					

項目		基準	自主	手直	備考	
※10 壁	23. 両面開口を設ける場合の交差部分の補強	コーナー柱、腰壁、金物				
	金物					
	24. □一般	種類、使用方法、釘打ち				
	25. □ホールダウン	オーバーハングやピロティなど				
	26. 垂直精度					
27. 防腐防蟻処理の範囲	地面から1mの部分					
※11 屋根	1. 材料	寸法形式:規格				
	2. 材料	厚さ9mm以上の構造用合板				
	3. 垂木又はトラス相互間隔	650mm以内				
	たるきつなぎ、振れ止め	配置				
	4. 垂木と天井根太釘打ち	3-CN90F以上				
	5. 垂木と棟木の釘打ち	3-CN75T				
	6. たるき、天井根太又はトラスと頭つなぎの釘打ち	2-CN75				
	7. 垂木の頭つなぎとの納まり	頭つなぎへの納まりは欠き込む 75mm以上、せいの1/3以下				
	8. 屋根下張材の割付	千鳥、垂木に3本以上かける				
	9. 垂木又は、トラスと下張材の釘打ち	下張材が厚さ9mm又は12mmの場合 CN50 間隔:外周部150mm以内 間隔:中間部300mm以内 下張材が厚さ15mm以上の場合 CN65 間隔:外周部150mm以内 間隔:中間部300mm以内				
	10. 下張材の釘の打ち込み状況	釘のめり込み □なし □有(				
	11. 屋根梁	継手、支持方法				
	12. トラス					
	□合板ガセット	釘打ちの本数、ガセットの厚み				
	□ネイルプレート					
13. 束建て	振れ止め					
14. 金物	種類、使用方法、釘打ち					
15. 開口部補強	開口基準、制限、補強					
※12 せっこう ボード	1. 材料	厚さ12mm以上(2枚張りの場合は9mm以上)				
	2. 割付					
	3. 床面との収まり	面材との隙間				
	4. 受け材	横張、吹き抜けなど				
	5. 壁張りの釘打ち	□1枚張り	GN40又はSFN45等 間隔:外周部100mm以内、その他200mm以内			
		□2枚張り 1枚目 2枚目	1枚張りと同様 GN50、SFN50又は長さ50mm以上、 径2.5mm以上のスクリューネイル又はリングネイル1枚目 ボードと2枚目ボードの目地を合わせない 間隔:外周部及び中間部とも200mm以内			
6. 天井張りの釘打ち	□1枚張り	GN40又はSFN45等 間隔直交張りの場合 間隔:直交張りの場合 外周部150mm以内、 中間部200mm以内 平行張りの場合 外周部100mm以内 中間部200mm以内				

項目		基準	自主	手直	備考
※12 せつこう ボード	6. 天井張りの釘打ち □2枚張り 1枚目  2枚目	GN40、SFN45又は長さ32mm以上、 径2.5mm以上 間隔:外周部及び中間部ともに300mm以内 GN50、SFN50又は長さ50mm以上、 径2.5mm以上のスクリューネイル又はリングネイル1枚目 ボードと2枚目ボードの目地を合わせない 間隔:直交張りの場合 外周部150mm以内、 中間部200mm以内 平行張りの場合 外周部100mm以内 中間部200mm以内			
	7. ボード材の釘の 打ち込み状況	釘のめり込み □なし □有(			
	8. 金物	種類、使用方法、釘打ち			
※13 小屋組 工事	※小屋組				
	1. 材料	寸法形式:規格			
	2. 垂木又はトラスの 相互間隔	650mm以内			
	3. たるきつなぎ、振れ止め	配置			
	4. 垂木と天井根太 釘打ち	3-CN90F以上			
	5. 垂木と棟木の釘打ち	3-CN75T			
	6. 垂木、天井根太又 トラスと頭つなぎの釘打ち	2-CN75			
	7. 垂木の頭つなぎ との納まり	頭つなぎへの納まりは欠き込む 75mm以上、せいの1/3以下			
	8. 屋根梁				
	9. トラス □合板ガセット □ネイルプレート	釘の本数、ガセットの厚み			
	10. 束建て	振れ止め			
	※屋根下張				
	11. 材料	厚さ9mm以上の構造用合板			
	12. 屋根下張材の割付	千鳥、垂木に3本以上かける			
	13. 垂木又はトラスと 下張材の釘打ち	下張材が厚さ9mm又は12mmの場合 CN50 間隔:外周部150mm以内 中間部300mm以内 下張材が厚さ15mm以上の場合 CN65 間隔:外周部150mm以内 中間部300mm以内			
	14. 下張材の釘の 打ち込み状況	釘のめり込み □なし □有(			
※小屋補強					
15. 金物	種類、使用方法、釘打ち				
16. 開口部補強	開口基準、制限、補強				

項目		基準	自主	手直	備考
※14 屋根葺 工事	※下葺				
	1. 防水紙	種類、厚さ(アスファルトルーフィング940以下同等品) 皺のないように上下100mm以上 左右200mm以上重ねる			
	※錆工事				
	2. 捨谷鉄板	種類、厚さ、防水紙裏に60mm以上 立ち上げをつける			
	3. 水切り				
	※葺材				
	4. 材料	葺き材名 □瓦、□スレート、□金属			
5. 勾配	屋根勾配				
6. 施工方法	釘の長さ、種類など				
7. 葺き上がり状況					
※15 防水 工事	※屋根				
	1. 板金、金属板葺	くぎ頭は、すべてシーリング処理			
	2. 板金接合部	端部ははげ折			
	※外壁				
	3. 防水紙	アスファルトフェルト(1巻20kg以上)同等品			
	4. 付梁の板金施工	立ち上がり60mm以上 勾配つける			
	5. 下屋と壁の取合部の板金	水返し役物の取り付け			
	6. 防水紙の張り方	上下左右の重ねシロ90mm以上 防水紙の張り方が上下逆になっていないこと			
	7. 下屋と壁の取合部の防水紙施工	瓦250mm以上、その他120mm以上の立ち上げ			
	8. サイディング	継ぎ目部は、ジョイナー又はシーリング処理			
	※開口部				
	9. 出窓板金	屋根コーナーの八千代折 壁立ち上がり60mm以上			
10. 換気扇周り 設備引き込み部分	プライマー塗布後シーリング処理				
※その他					
11. バルコニー笠木下の 防水施工	防水紙の施工				
12. バルコニー板金	くぎ頭は、すべてシーリング処理				
※16 防火 工事	※省令準耐火構造				
	1. 外壁 外側	防火構造			
	内側	セッコウボード厚さ12.5mmなど			
	2. 内壁	セッコウボード厚さ12.5mmなど			
	3. 床 裏側	セッコウボード厚さ12.5mmなど 吊天井とする場合は、セッコウボード厚さ 9.5mm2枚張り吊天井の構成			
	4. 天井又は屋根	セッコウボード厚さ12.5mmなど			
	※準耐火構造				
	1. 外壁 外側	セッコウボード厚さ12.5mm+厚さ9.5mm セッコウボード張りなど			
	内側	セッコウボード厚さ15mmなど			
	2. 内壁	セッコウボード厚さ15mmなど			
3. 床 表側	厚さ12mm以上の合板の上に厚さ8mm以上の 硬質木片セメント板張りなど				
裏側	強化セッコウボード厚さ15mmなど				

項目		基準	自主	手直	備考	
※16 防火 工事	4. 屋根	強化セッコウボード厚さ15mmなど				
	5. 階段 木製	厚さ6cm以上又は、3.5cm以上＋厚さ12.5mm以上の強化セッコウボード張りなど				
	6. その他	防火被覆に設ける設備周辺の措置等				
	※高性能準耐火構造					
	1. 外壁 外側	硬質木片セメント板厚さ18mmなど				
	内側	セッコウボード厚さ12.5mm2枚張りなど				
	2. 内壁	セッコウボード厚さ12.5mm2枚張りなど				
	3. 床 表側	厚さ12mm以上の合板の上に厚さ12mm以上の硬質木片セメント板張りなど				
	裏側	強化セッコウボード厚さ15mm＋ロックウール厚さ50mm(密度40kg/m <sup>3</sup> 以上)など				
	4. 屋根	強化セッコウボード厚さ15mmなど				
5. 階段 木製	厚さ6cm以上又は、3.5cm以上＋厚さ12.5mm以上の強化セッコウボード張りなど					
6. その他	防火被覆に設ける設備周辺の措置等					
※17 耐久性 仕様	※基礎の構造					
	※1. 構造形式	<input type="checkbox"/> 布基礎	立ち上がり(高さ400mm以上、幅120mm以上フーチング(厚さ150mm以上、幅450mm以上)根入れ深さ(地面より240mm以上)			
		床下防湿措置等	<input type="checkbox"/> 防湿土間コンクリート60mm以上 <input type="checkbox"/> 防湿フィルム <input type="checkbox"/> 防湿フィルム及び防湿土間コンクリート60cm以上			
		<input type="checkbox"/> 腰壁と一体となった布基礎	立ち上がり(高さ400mm以上、幅120mm以上フーチング(厚さ150mm以上、幅450mm以上)根入れ深さ(地面より240mm以上)			
		床下防湿措置等	<input type="checkbox"/> 防湿土間コンクリート60mm以上 <input type="checkbox"/> 防湿フィルム			
		<input type="checkbox"/> べた基礎と一体となった布基礎	1階浴室周り <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> コンクリートブロック <input type="checkbox"/> 壁枠組に防水上有効な措置(ユニットバス使用時)			
		<input type="checkbox"/> その他	立ち上がり(高さ400mm以上、幅120mm以上)スラブ(厚さ mm)根入れ深さ(地面より240mm以上)			
	※床下換気措置					
	<input type="checkbox"/> 1. 換気口型	1. 材料	<input type="checkbox"/> 鋳物製 <input type="checkbox"/> ステンレス製 <input type="checkbox"/> その他( <input type="checkbox"/> 網付き			
		※2.有効換気面積(外周)	300cm <sup>2</sup>			
※3.配置(外周)		間隔は、4m以内(土間部分除く)				
<input type="checkbox"/> 2. ネコ土台による通気		<input type="checkbox"/> 硬質ゴム製 <input type="checkbox"/> 樹脂製 <input type="checkbox"/> 金属製 <input type="checkbox"/> その他(				
※外壁						
1. 下張材料		寸法形式、規格 <input type="checkbox"/> 構造用合板(特類)9mm以上 <input type="checkbox"/> 構造用パネル <input type="checkbox"/> パーティクルボード15mm以上 <input type="checkbox"/> 硬質木片セメント板18mm以上				

項目		基準	自主	手直	備考	
※17 耐久性 仕様	※開口部					
	1. サッシ周り防水		サッシ周りを防水テープ・シーリング材などにより防水処置			
	※外壁内通気措置					
	□1. 有 □2. なし	防風材	材料			
		通気層の構造	□土台水切り部から軒天井見切り縁に通気できる構造 □土台水切り部から軒天井裏を經由し小屋裏換気孔に通気できる構造			
		外壁の仕上げ	□サイディング □その他			
		土台水切り	材料			
	※防腐防蟻措置					
	1. 適用	※木部の防腐防蟻措置				
		※地面に講じる防蟻措置	□布基礎と一体となったRC造のべた基礎 □薬剤による土壌処理			
	2. 講ずる部分	※木部の防腐防蟻措置	土台、構造耐力上有効な部分、浴室水かかりとなるおそれのある箇所の枠組			
		※地面に講じる防蟻措置	外周部布基礎の内側及び内部布基礎の周辺20cm 束石の周辺20cm以上			
	※3. 薬剤による現場処理					
	※4. 薬剤による工場処理					
	※小屋裏換気					
	※5. 小屋裏換気		換気方法 換気面積			
	※基礎断熱工法					
1. 基礎における断熱施工						
2. 断熱材の施工部位						
※3. 断熱材の厚さ						
※4. 床下防湿処置						

項目		基準					備考
※18 断熱 工事	※断熱材の仕様（在来木造・枠組壁工法）（気密住宅）						
	1. 下記の断熱材による場合						
	断熱材の種類	A	B	C	D	E	
	住宅用グラスウール	10K	16K	24K、32K			
	吹込用グラスウール	GW-1, GW-2		30K、35K			
	高性能グラスウール			16K、24K			
	ポリエチレンフォーム		B種	A種			
	インシュレーションボード	A級					
	シーキングボード	○					
	タタミボード		○				
	住宅用ロックウール			○			
	吹込用ロックウール	25K、35K					
	ポリエチレンフォームA類		4号	1.2.3.号	特号		
	ポリエチレンフォームB類			1種	2種	3種	
	吹込用セルローズファイバ			45K、55K			
	硬質ウレタンフォーム					○	
	吹付硬質ウレタンフォーム					○	
	その他の断熱材						
2. 「天井吹込み工法」による場合		使用断熱材名					
※断熱材の厚さ							
●下記の「断熱材の種類」に○をつけ「基準上の厚さ」には、申請建築物の構造から次項の表を選定し、断熱材の種類に応じた厚さを記入。 また、「施工する厚さ」には、実際に施工される断熱材の厚さを記入する。							
部位		断熱材の種類	基準上の厚さ	施工する厚さ	審査		
屋根又は天井		A・B・C・D・E	mm以上	mm以上			
壁		A・B・C・D・E	mm以上	mm以上			
外気に接する床	畳敷き	A・B・C・D・E	mm以上	mm以上			
	板敷き	A・B・C・D・E	mm以上	mm以上			
その他の床	畳敷き	A・B・C・D・E	mm以上	mm以上			
	板敷き	A・B・C・D・E	mm以上	mm以上			

枠組壁工法の住宅の断熱材の基準厚さ

枠組壁工法	部位	A	B	C	D	E
	屋根又は天井		80(70)	75(60)	65(55)	55(45)
壁		45(45)	40(40)	35(35)	30(30)	25(25)
外気に接する床	畳敷き	45(35)	40(30)	35(25)	30(25)	25(20)
	板敷き	70(55)	60(50)	55(45)	45(35)	40(30)
その他の床	畳敷き	15(5)	15(5)	15(5)	10(5)	10(5)
	板敷き	40(30)	35(25)	30(25)	25(20)	20(15)

在来木造の住宅の断熱材の基準厚さ

在来木造	部位	A	B	C	D	E
	屋根又は天井		100(70)	90(60)	75(55)	65(45)
壁		70(45)	60(40)	55(35)	45(30)	40(25)
外気に接する床	畳敷き	65(35)	55(30)	50(25)	45(25)	35(20)
	板敷き	90(55)	75(50)	65(45)	60(35)	50(30)
その他の床	畳敷き	30(5)	25(5)	25(5)	20(5)	15(5)
	板敷き	50(30)	45(25)	40(25)	35(20)	30(15)